

## 小松高校 P T A だより 第 87 号 ー 未来に向かう ー

校長 村井 浩昭

今年度は、コロナ禍で培った衛生意識や I C T 活用能力の向上等のスキルを踏まえ、多くの行事を再確認しながら活気を取り戻す段階であると感じています。この四月に新入生 149 名を迎え入れ、順調なスタートとなりました。現在、全校生徒数 373 名、教職員数 58 名で学校生活を送っています。

P T A 会員の皆様には、日頃から本校の教育活動推進に多大な御協力及び深い御支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。既に竹林整備や総体応援等で御協力いただき、感謝いたしております。5 月 6 日に行われました P T A 総会では、すべての議案に御承認をいただき、吉實勇治会長を中心に令和六年度 P T A 活動が正式に始まりましたこと、お喜び申し上げます。旧役員の皆様には、たいへんお世話になり、ありがとうございました。新体制が掲げる活動目標は「ONE FOR ALL ALL FOR ONE ～一人は全員の為に 全員は一つの目的のために～」と決定いたしました。末尾の「ONE」は「一人」ではなく「一つの目的」であるという本来の解釈を説明していただき、学校、家庭、地域とのより強固な連携を実現し、同じ目標に向かって邁進したいという強い思いが芽生えています。

さて、本校では、今年度の重点努力目標を「文武両道 情理一体 人間力を高めあい 夢の実現を ～伝統を継承し、地域とともに未来へ向かう～」と決めました。「情理一体」は、私の教育理念です。人には、情的感受性と理的感受性があります。情的感受は、感情や情緒といった心が揺さぶられることで、理的感受は、理屈や定理といった筋道を立てて考える、いわゆる知的好奇心が揺さぶられることです。すなわち、思いやりの気持ちを持ち、お互いを尊重し、慮りながら、目標に向かって知識や技能の習得に主体的に学習に取り組み、成長につなげていくという意味の重点努力目標となっています。また、副目標を「伝統を継承し、地域とともに未来へ向かう」としたのは、県立学校振興計画により、「小松高校」「東予高校」「丹原高校」の三校が、令和八年度から新しい二校「小松高校」「東予総合高校」に生まれ変わることを意識したからです。現在、県からの指導を受けながら三校で協力して準備に取り掛かっています。お知りおきください。

生徒は、生徒会スローガン二〇二四「It's 笑 time! ～輝く笑顔 あふれる思いで～」の下、笑顔を大切にしながら様々な活動に打ち込んでいます。第 78 回愛媛県高等学校総合体育大会には地区予選を勝ち抜いた総勢 100 名が出場しました。マニフェストの 70 人越えの目標を大幅に上回りましたが、県大会での厚い壁に阻まれた競技が多かったので、各部とも次の目標に向けて再発進をしているところです。水泳競技は、四国大会出場が決まっておりますし、この「P T A だより」が発行される頃には野球部が大活躍であると信じております。

最後になりましたが、生徒は、未来に向けて、次々と直面する新しい問題を解決していかなければなりません。迫りくる答えのない問題に立ち向かわなければなりません。それらを解決するための資質・能力を身に付けるために、学習や部活動はもとより、様々な活動に取り組んでいます。私たち教職員は、生徒の潜在能力を引き出し、将来に向かう力を育むために支援に努めます。P T A 会員の皆様と連携し、生徒とともに学ぶ姿勢で取り組んでまいりますので、引き続きよろしく願いいたします。